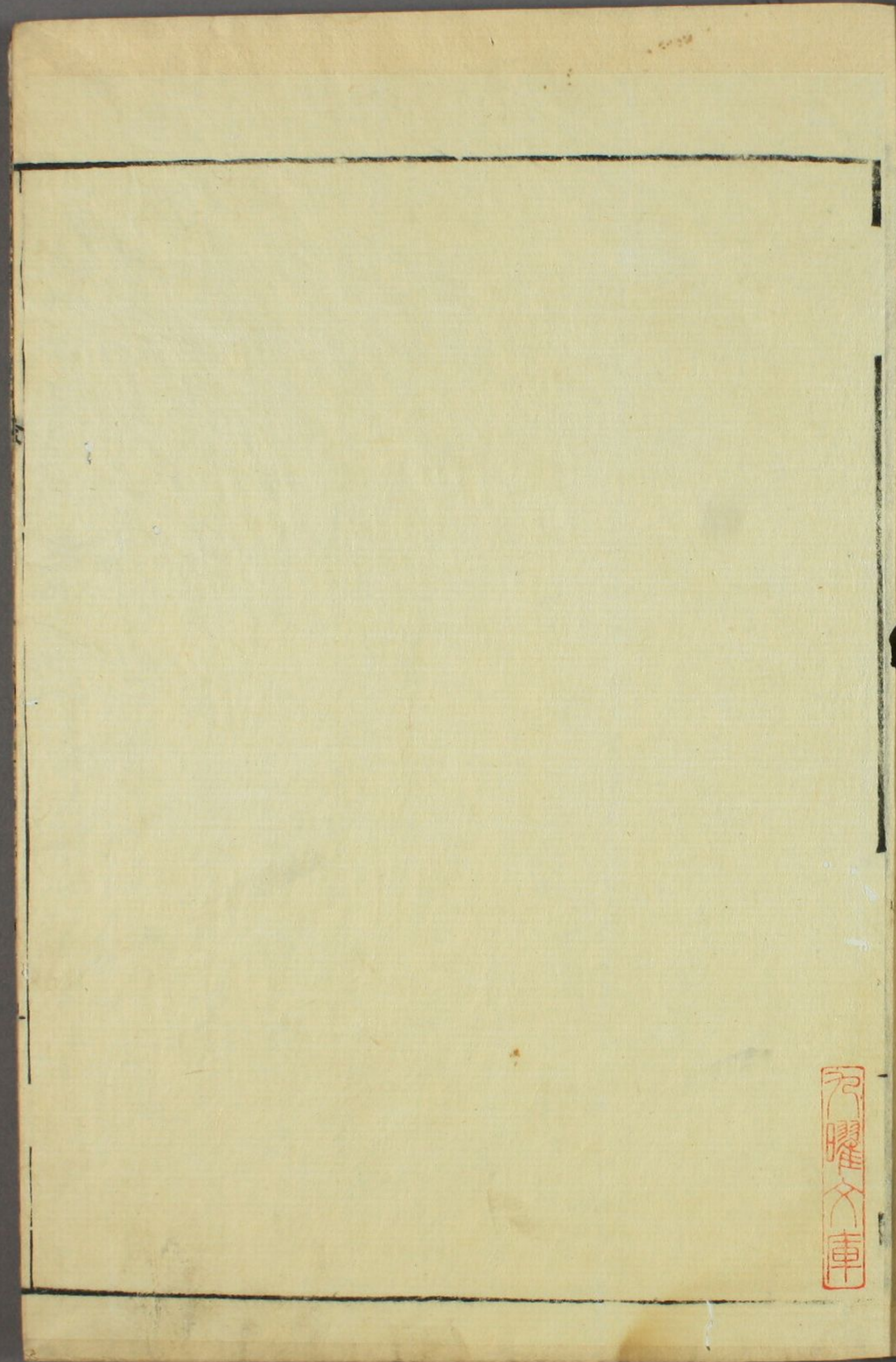


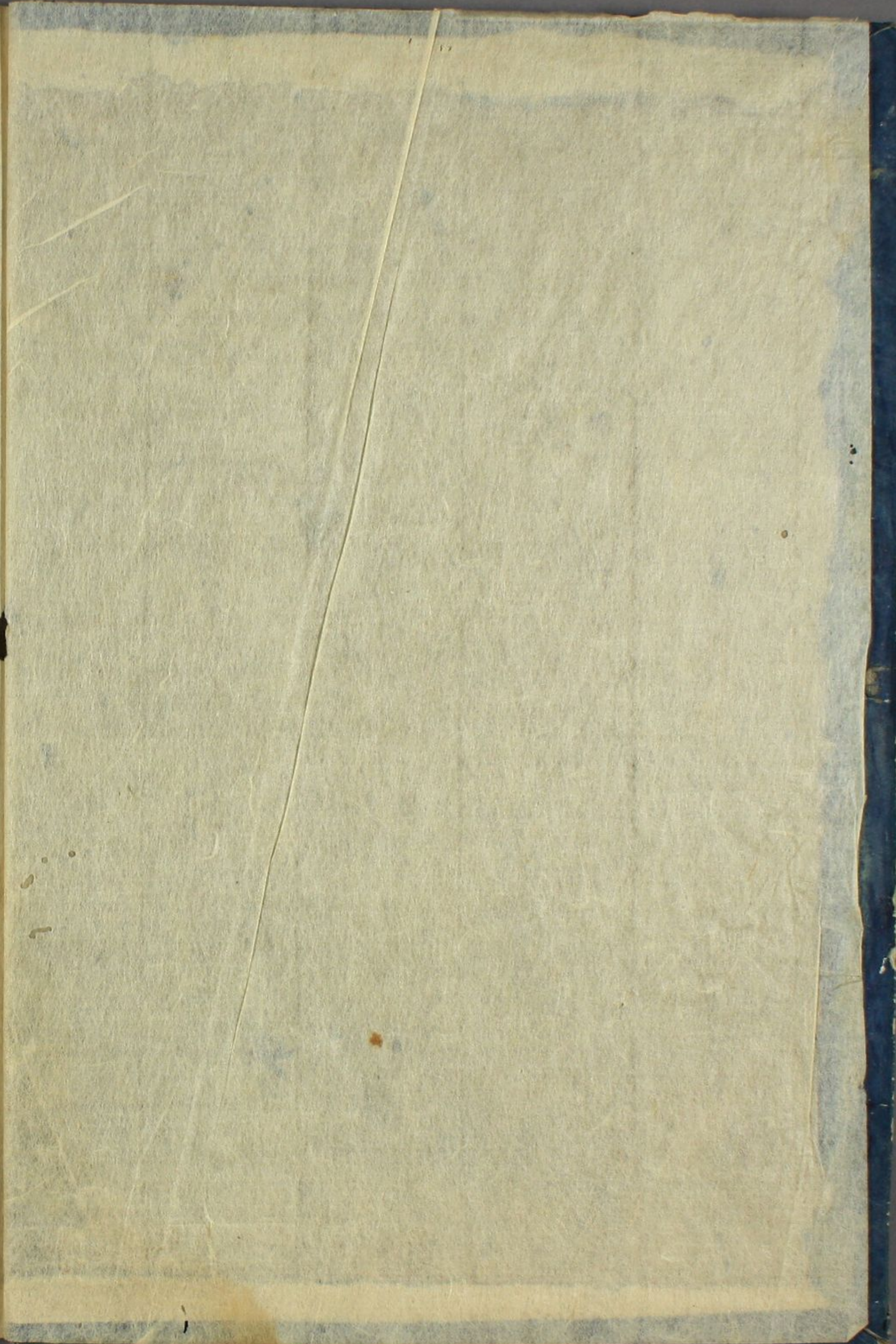
湖月抄  
比叟







文庫









ひふ四方にまぬのこひ  
らとれりて

の百歩の 細唐丸方  
よそわらせしつらふら  
名義三香是離穢之各  
人中臭氣上薰於空四  
十万里諸天清淨空不  
厭也 花百歩ののえ

ひふの若菩薩  
細揚土觀音勢至也觀  
經金量壽佛住立空  
中觀世音大勢至二  
大士侍立左右

わとさあらし世宗の  
らとを 唯 是は死と  
て國四よ入しと  
今もわらふ人よ了ら  
みらとくく 細唐丸  
ささ物い妻の入と  
ささのささうら  
ひらくしと  
天曆九年正月四村上天皇

為母衣被袂養宸筆  
法華經有八講

これとよはせの結縁  
細唐と女三ふと今生  
の衆もくくまら  
ふりて

すづきのあまのや  
あけのうら金のまよ  
はるの星付のや  
これいよは港のけし  
あはれは批 細唐丸自  
筆の強ハ別はま

西曼荼羅 細唐丸集七蒲荼羅 此は翻壇  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先

まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先

まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先

まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先

これとよはせの結縁  
細唐と女三ふと今生  
の衆もくくまら  
ふりて

まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先

まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先  
まらけをりてあまののれが先



そのおのり導師のま  
へにわたり

地蔵寺にておのりうま  
花中帳巻のよよ佐と  
おろく経の札をな  
れまへく河海自余の  
後らわやまわり

りのおろくうま  
妙女二のきこひおろく  
いた陽よまこれらる

このよようま  
細うまおのり

へまわく 魚のうま  
て定焼よりまわ  
くま、り白ひら  
ら人のまにすま  
毎松あま  
うせらの 知海  
んくひまうま  
まわま

例のおわくらなわ  
雌 女三三の方れん  
まま 魚とと  
まま 女まもま

ひれりまわり 雌  
おまわり  
まま  
まま  
まま

らんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき

りんのけき  
りんのけき  
りんのけき



らぬくことハ女三の極  
史而し今ハ各別ニ  
しりりとしん也  
とづりてふや。

加ふらんこの用こと  
とハ女三のりハ女三  
ハ極のりハ女三事ハ  
とせしやわ。

ちりあふも極ハ  
ハ極と極のりハ  
つけくも女三のりハ  
くハ尾ハもりハ

せハとハりハ  
とハこのハのりハ  
ハ極のりハ女三のりハ  
ありてことハ世も有ハ  
ハ女三のりハ女三

とハハハハハハハ  
とハのりハハハハ  
一蓮他世のりハ各留  
半座乗華葉五合讚

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

乗華葉待我爾浮同行  
人としり今ハ各別ハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

七僧 細講師 讀師 呪  
願 三禮明 散華 堂  
師ハハハハハハハハ

くハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ

ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ  
ハハハハハハハハ







移りまへくわつと深乃  
くのみひつてひらひら  
いざいぢまきよよはり  
あり  
わりこぼれぬ世  
西かりこぼれぬ世  
わづらひらひら  
おぼろよよはり  
さうさうさう  
ほろろけくらせほひ  
くまの物まじり  
めりさうさう

そいゆかりのうらうらとく明言もてま  
つりゆめくはけたりんしとさうさう  
まひひらひねづいぢまのりもてぬ世  
りくまのわらうらねどる残ひらう張の  
くまのまじりぬさうさう  
細三葉のまじり 唯三葉のうらうら  
あつたよまじりぬさうさう  
つらせほろよの物まじりぬさう  
おね  
みせさうさうらひらひら物まじりぬさう  
くまのまじりぬさうのま乃ゆほまか  
うまをほろよまじりぬさう  
無蓋  
くのはいぬさうさうまじりぬさう  
お朱蓮の女と(おね)分のさう  
まじりぬさうらひらひらまじりぬさう

おめいさうさう  
おののゆめのみまじり  
まじりぬさうさうさう  
ゆめまじりぬさう  
お身まじりぬさう

おゆのまじりぬさうのま乃ゆほまか  
ゆめまじりぬさうらひらひら物まじりぬさう  
づさそらうの女席のまじりぬさう  
のまじりぬさうらひらひら  
まじりぬさうらひらひら  
唯三葉のまじりぬさう  
まじりぬさうのまじりぬさう  
まじりぬさうらひらひら  
おね  
まじりぬさうらひらひら  
細三葉のまじりぬさう  
まじりぬさうらひらひら  
おね  
まじりぬさうらひらひら  
おね  
まじりぬさうらひらひら  
おね







我八月廿八日 東よきころ  
しつり

わきまのふと 河津流  
大罪 仰 海流流真言し  
がわが口と後へし 海も  
は大罪と痛きなり

松ののちん 松ののちん  
孟松松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

孟十三  
よきまわりしてころしつりまがわ流何く

いんぞう 松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

あまのねいし 河津流  
がわが口と後へし 海も  
は大罪と痛きなり

わきまのふと 河津流  
大罪 仰 海流流真言し  
がわが口と後へし 海も  
は大罪と痛きなり

松ののちん 松ののちん  
孟松松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし

とらふくまふくまふくま  
細松と人ともなるわりの  
の文字入るころし











雲のよき 細腰のそま  
— せせのりり物こ  
きさぬこ月日すれ  
ぬらこ 月もまれ  
ぬらあり 孟冷水舟  
今こ船洞されどけり  
されけりすこく  
ゆらけり 細腰  
雲の月と花とをせ  
トくはまねん人  
よせせののりあり  
月こ船洞されどけり  
— せせのりり物こ

月づつ 細腰のそま  
— せせのりり物こ  
きさぬこ月日すれ  
ぬらこ 月もまれ  
ぬらあり 孟冷水舟  
今こ船洞されどけり  
されけりすこく  
ゆらけり 細腰  
雲の月と花とをせ  
トくはまねん人  
よせせののりあり  
月こ船洞されどけり  
— せせのりり物こ

師 我名くくのよとく  
のゆきとのとむり  
わくくく 孟早下  
くの車 孟友佐  
く 細腰のそま  
わくくく 孟早下  
と 細腰のそま

直衣布袴事 西宮抄  
女上着 直衣下着  
下裳 随便 不常事  
おそい 細腰のそま  
二んぞりり物こ  
— せせのりり物こ

雲のそま 細腰のそま  
— せせのりり物こ  
きさぬこ月日すれ  
ぬらこ 月もまれ  
ぬらあり 孟冷水舟  
今こ船洞されどけり  
されけりすこく  
ゆらけり 細腰  
雲の月と花とをせ  
トくはまねん人  
よせせののりあり  
月こ船洞されどけり  
— せせのりり物こ

雲のそま 細腰のそま  
— せせのりり物こ  
きさぬこ月日すれ  
ぬらこ 月もまれ  
ぬらあり 孟冷水舟  
今こ船洞されどけり  
されけりすこく  
ゆらけり 細腰  
雲の月と花とをせ  
トくはまねん人  
よせせののりあり  
月こ船洞されどけり  
— せせのりり物こ







月夜女三宮まで皆世  
とありて終よとられ  
福来まののせよと  
れまふらうと  
くすくすして  
孟林ぬへあもつら  
とて細 我門ひらの  
とせよとて世を我  
うとて世のひら  
けまふらうと  
この人乃とて  
細林ぬの月夜女とて  
よりと今も  
てふ事休も御も  
まありかたし  
はつとわつと  
ふとわつと  
つとわつと  
この人の  
おしく世を  
細林ぬの

うらみほそこの乃どわらうとわらうと  
世とわれとすまおはわらうと  
あひらわらうとありのわらうと  
まうとわらうとわらうと  
こつとわらうとわらうと  
せとわらうとわらうと  
えとわらうとわらうと  
けとわらうとわらうと  
年とわらうとわらうと  
おとわらうとわらうと  
はとわらうとわらうと  
あひらわらうとわらうと

のうらよ少の社の身とつとわらうと  
世よわらうと  
おとわらうと  
あひらわらうと  
まうとわらうと  
こつとわらうと  
せとわらうと  
えとわらうと  
けとわらうと  
年とわらうと  
おとわらうと  
はとわらうと  
あひらわらうと

あひらわらうと  
まうとわらうと  
こつとわらうと  
せとわらうと  
えとわらうと  
けとわらうと  
年とわらうと  
おとわらうと  
はとわらうと  
あひらわらうと

あひらわらうと  
まうとわらうと  
こつとわらうと  
せとわらうと  
えとわらうと  
けとわらうと  
年とわらうと  
おとわらうと  
はとわらうと  
あひらわらうと



おはるよ 白き雪の舞  
雲はあまのうらみはく  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
人よこまねをりや  
あのみよの 孟は  
邪氣よまをり  
ほめくくく

あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり

孟は雪の舞  
くくくくくくくくく  
くくくくくくくくく  
くくくくくくくくく

あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり

あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり  
あまのうらみの世のうらみ  
くくくくくくくくく  
ひてのけり



そののちと流るるうすく  
のあれうしん  
うのりやまをゆりゆり  
ぐま 孟 孟の嘆  
の箱と清滅うすく  
御年のつりうふま  
てふつしん  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま

うすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま

えつせりふすしん  
の市あかあつしん  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま

えつせりふすしん  
の市あかあつしん  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま  
そののちと流るるうすく  
おれものぐりま











